

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	北澤
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4308 公民館管理事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費					
	事業	010000 公民館管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
公民館は、学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。				市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。公民館の施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 また、施設修繕やLED照明の導入、ガス器具の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。全地域公民館で冷暖房等使用料の実費徴収を実施している。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。	使用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。特に照明のLED化を順次進める。

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000	
	実績	81,251	99,672				
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ						
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による利用者減を考慮						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		18,840	17,583
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,475	1,332
一般財源		17,365	16,251
人員数(人)	正規職員	0.2	0.3
	会計年度(フル)	0.6	0.6
	会計年度(パート)	1.0	1.6
人員コスト	正規職員	1,391.6	2,087.4
	会計年度(フル)	2,102.4	2,102.4
	会計年度(パート)	1,628.0	2,604.8
	計	5,122.0	6,794.6
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		23,962.0	24,377.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	11,179	消耗品費447、燃料費315、光熱水費6,398、修繕料4,019
12節 委託費	1,017	清掃業務175、自動扉保守77、電気保安263、樹木伐採238、看板作成251、シルバー管理13
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	2	講習会受講料負担金2
その他	6,642	報酬634、旅費47、役務費1,656、使用料及び賃借料1,867、原材料44、備品2,385、公課費9

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	10,991	消耗品費370、燃料費315、光熱水費6,106、修繕料4,200
12節 委託費	1,270	清掃業務330、自動扉保守77、電気保安263、樹木伐採300、シルバー管理300
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	10	防火管理者講習会受講負担金10
その他	5,312	報酬652、旅費53、役務費1,584、使用料及び賃借料2,233、原材料70、備品720

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	SDGSIに配慮した施設管理が望まれている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設機能の充実に図り、利用者の利便性を高める	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コロナ対策を講じつつ、維持管理費の軽減を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）

利用者の利便性の向上と安全を考慮した施設の維持管理を継続する

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
施設の老朽化により、修繕箇所が増大する中で、利用者に安心安全に利用していただくための施設管理が求められる	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
公民館施設として、また、災害時の避難施設として利用者の立場で施設環境の改善を図る必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input checked="" type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input checked="" type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤
	全体計画						経費区分		実施計画事業費		内線	3630
事務事業名	17217 公民館整備事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費										
	事業	020000 公民館整備事業										
事業目的						事業概要・効果						
地域公民館の老朽化に伴う改修等						<ul style="list-style-type: none"> ・公民館の設置は、社会教育法21条で市町村とされている。公民館は、今後も市民との共創や地域づくり等、地域振興の拠点施設として必要であり、維持改修を計画的に行う。 ・老朽化した照明のLED化を行い、灯具の発火抑止、電力消費量の軽減を図る。地域公民館等(南部、旭ヶ丘、日野等)の照明器具LED化。 						

PLAN-DO
年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
	日野地域公民館及び旭ヶ丘ふれあいプラザ照明器具LED化工事、設計
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
南部地域公民館及び旧上高井郡役所照明器具LED化工事、設計	臥竜山公会堂及び生涯学習センター照明器具LED化工事、設計

指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名						単位	
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		0	11,620
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	10,400
	その他	0	0
一般財源		0	1,220
人員数(人)	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	0.0	0.0
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	0.0	0.0
	計	0.0	0.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.2
総額		0.0	11,620.0

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	0	
12節 委託費	520	設計委託料520
14節 工事請負費	11,100	日野地域公民館照明器具LED化工事5,400、旭ヶ丘ふれあいプラザ照明器具LED化工事5,700
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	0	

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	高い
評価コメント	SDGSIに配慮した施設管理が望まれている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設機能の充実を図り、利用者の利便性を高める	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	向上
評価コメント	脱炭素化推進事業債を活用して維持管理費の軽減を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）
実施計画どおりに進める

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
SDGSに配慮し、各地域公民館のLED化を進め維持管理費の軽減を図ることは重要である		施設の維持管理費の軽減を図ることは重要	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	杉山健一
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4309 公民館活動事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100602 教育費・社会教育費・公民館費					
	事業	030000 公民館活動事業					
事業目的				事業概要・効果			
少子高齢化、情報化、国際化など社会環境が急速に変化する中、市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、ボランティア活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるための事業を推進する。				市民が生涯にわたり生きがいを求め、様々な学習活動、文化活動、地域づくり活動等に取り組む意欲に応えるため、成人講座などの各種講座を開催する。また、事業推進にあたっては文化芸術協会、公民分館をはじめとした各種団体と連携を図ることも視野に入れる。 地域づくりを進めるには、住民自らが主体性を持ち活動することが求められる。公民館の講座や事業を通じて市民が得られる達成感や喜びが、市民共創の地域づくりへの力となることが期待できる。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・文化芸術講座等・他課との連携事業の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり ・組織改正に伴う事業等の再検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種講座の開催・他課との連携事業等の実施 ・地域づくり推進委員会等団体の活動支援による小さな拠点づくり

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ使用者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	100,000	150,000	180,000	180,000	180,000	
	実績	81,251	99,652				
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ						
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 予算
事業費		79,635	85,178
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	84	0
一般財源		79,551	85,178
人員数(人)	正規職員	0.6	1.5
	会計年度(フル)	8.7	7.8
	会計年度(パート)	11.1	11.1
人員コスト	正規職員	4,174.8	10,437.0
	会計年度(フル)	30,484.8	27,331.2
	会計年度(パート)	18,070.8	18,070.8
	計	52,730.4	55,839.0
市民一人当たりの経費		2.5	2.7
総額		132,365.4	141,017.0

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,977	講師謝礼1,977
10節 需用費	408	消耗品費359、食糧費47
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	12,467	公運協負担金133、公民分館交付金9,442、地域づくり交付金2,879 その他13
その他	64,783	職員人件費64,783

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	2,530	講師謝礼2,530
10節 需用費	456	消耗品456
12節 委託費	0	
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	13,287	公民分館交付金10,000、地域づくり交付金3,000、会議負担金287
その他	68,905	職員人件費68,358 その他547

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	公民館活動は社会教育法第3条により市町村の任務として位置付けられている。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	コロナ禍により活動が制約されてきたが、今後は市民の交流の場として新たな取組が求められる。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	出前講座等を活用し、費用対効果の向上に努めている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2022年度後半まではコロナ禍により活動が強く制約されてきた。2023年から制約が緩和されたことに伴い、事業が徐々に再開し、地域公民館の利用も回復傾向にある。

しかしながら、3年にわたって活動が縮小されてきたため、市民の意識のあり方も大きく変容してきていることから、コロナ後のライフスタイルに応じた新たな取組みが求められている。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント	
気軽に各地域公民館を利用してもらうために、地域に開かれた公民館として魅力ある事業などを行い、地域コミュニティを活発にするための地域づくり推進委員会等の支援を行う。	

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
2次評価コメント	
これまでの取組みを総括し、市民にとって身近に必要な活動を進める。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤
		全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	4316 臥竜山公会堂管理事業												
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課												
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進												
予算 科目	会計	01 一般会計											
	科目	100607 教育費・社会教育費・臥竜山公会堂費											
	事業	010000 臥竜山公会堂管理事業											
事業目的						事業概要・効果							
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理に努めていく。						自然豊かな臥竜公園に位置することから、市民の憩いの場、交流の場として施設充実を図っていく。 老朽化が進行している大規模施設と広範な敷地について、適切な維持管理を行う。 抜本的見直し（指定管理の導入による経費縮小）の動向に注視しながら、維持管理に係る業務量を精査し、事業費への反映を行う。							

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の適切な維持管理を実施した。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。	利用者の利便性と安全を考慮した施設の維持管理を実施する。

指標名	臥竜山公会堂の延べ利用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	500	500	3,000	3,500	3,500	
	実績	1,288	667				
指標選定の理由	平成29年度3,062人、平成30年度4,086人、2019年度2,923人、2020年度203人を参考とした。						
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		3,409	3,580
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	25	250
一般財源		3,384	3,330
人員数(人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.2	0.2
	会計年度(パート)	0.2	1.0
人員コスト	正規職員	0.0	695.8
	会計年度(フル)	700.8	700.8
	会計年度(パート)	325.6	1,628.0
	計	1,026.4	3,024.6
市民一人当たりの経費		0.1	0.1
総額		4,435.4	6,604.6

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,242	消耗品費74、燃料費60、光熱水費909、修繕料199
12節 委託費	85	支障木伐採委託料85
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,082	会計年度任用職員報酬1,491、職員手当195、共済費245、旅費99、役務費12、使用料及び賃借料14、原材料費25

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,180	消耗品費103、燃料費60、光熱水費975、修繕費42
12節 委託費	85	支障木伐採委託料85
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	2,315	会計年度任用職員報酬1,533、職員手当318、共済費288、旅費109、役務費12、使用料及び賃借料25、原材料費30

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	SDGSIに配慮した施設管理が望まれている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設機能の充実を図り、利用者の利便性を高める	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コロナ対策を講じつつ、維持管理費の軽減を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）

利用者の利便性の向上と安全を考慮した施設の維持管理を継続する

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）	次年度以降の方向性	抜本的見直し（縮小）
総合評価コメント		2次評価コメント	
施設が広く使い勝手が良くないため、利用者数は多くない。場所柄、季節的な利用形態のため施設活用方法を検討する必要がある。		公民館としての位置付けや在り方を検討する必要がある。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象 ■	評価対象 ■	新規 □	完了事業 □	ゼロ予算事業 □	担当者	杉山健一
	全体計画			経費区分	実施計画事業費	内線	3630
事務事業名	4317 生涯学習推進事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進						
予算科目	会計	01 一般会計					
	科目	100608 教育費・社会教育費・生涯学習推進費					
	事業	010000 生涯学習推進事業					
事業目的				事業概要・効果			
<ul style="list-style-type: none"> ・住民に分かりやすく楽しく学ぶイベントを、民間団体や学校とネットワークをつくり発信する。 ・地域学、地元学で地域の良さを活かす方法を探る。 				<ul style="list-style-type: none"> ●地域の優れた人材活用と、住民が楽しく学習できる講座を提供する。 ●須坂の自然・歴史・文化などの良さを地域住民に知っていただき、須坂が好きになる学習機会の提供。 ●地域を見直し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行く。 			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 ・組織の見直しによる事業や資源等の再検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携 	<ul style="list-style-type: none"> ・市民学園、須坂学舎の開催 ・まちづくり出前講座の実施 ・生涯学習推進員との連携

指標名	出前講座の延べ受講者数						
算式						単位	人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標	3,000	4,000	5,000	6,000	8,000	
	実績	1,070	3,433				
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ。						
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による受講者減を考慮						
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決 算	令和5年度 予 算
事業費		12,624	15,500
特定財源	国庫支出金	0	1,000
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	15	96
一般財源		12,609	14,404
人員数(人)	正規職員	3.3	3.3
	会計年度(フル)	1.0	1.0
	会計年度(パート)	1.0	1.0
人員コスト	正規職員	22,961.4	22,961.4
	会計年度(フル)	3,504.0	3,504.0
	会計年度(パート)	1,628.0	1,628.0
	計	28,093.4	28,093.4
市民一人当たりの経費		0.8	0.8
総額		40,717.4	43,593.4

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,136	講師謝礼398、謝礼197、記念品代541
10節 需用費	2,982	消耗品費1,040、食料費32、印刷製本費1,911
12節 委託費	500	映像編集委託料110、成人式インターネット同時配信369 その他19
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	271	長野県社会教育委員連絡協議会負担金9、北信地区社会教育委員連絡協議会負担金12、連合婦人会補助金250
その他	7,735	職員人件費6,398 その他1,337

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	1,596	講師謝礼600、謝礼436、記念品代外560
10節 需用費	2,151	消耗品費1,170、食料費51、印刷製本費930
12節 委託費	2,505	委託料2,505
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	566	負担金116、補助金450
その他	8,682	職員人件費6,653 その他2,029

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	第6次総合計画 一人ひとりが学び、高めあうまち に基づき、市民が心豊かに充実した生活をおくれるよう支援する。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	普通
評価コメント	2020～2021年度にかけて、コロナ禍でいろいろな活動が縮小・中止となっていたが、2022年度後半から徐々に再開してきている。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	出前講座の活用など、市民や各関係機関の協力を得ている。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

2020～2021年度にかけて、コロナ禍でいろいろな活動が縮小・中止になったり、施設の閉館等による制限を受けていたが、2022年度後半からは徐々に再開してきている。
 今後はアフターコロナに向けて、従来事業の見直しや新しい事業の開拓が求められてくる。

ACTION**1次評価****2次評価**

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
<p>出前講座の受講者数は増加傾向にあるが、市民学園及び須坂学舎の参加者は例年並みである。受講生に楽しく学習できる場を提供し、まちづくりにどう活かせるかを考え、行動できる人々をつなげて行くきっかけづくりとなっている。</p>		<p>学びを基礎とした「ひとづくり、つながりづくり、地域づくり」を進めるとともに、他課等との連携を進める。</p>	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	

令和 5年度 行政評価事業別シート

	実計対象	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	北澤
	全体計画						経費区分		-		内線	3630
事務事業名	15903 生涯学習センター管理事業											
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課											
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進											
予算科目	会計	01 一般会計										
	科目	100609 教育費・社会教育費・生涯学習センター費										
	事業	010000 生涯学習センター管理事業										
事業目的						事業概要・効果						
学習の場、交流の場づくりとして施設機能の充実、利便性、安全性を高めるため、施設の維持管理を行っていく。						市民が生涯学習を通じ、自ら学び挑戦する心を育み、学んだことを地域に活かしていく活動を推進する。生涯学習センターの施設・設備機能の充実を図ることにより、市民や各種団体が、より快適で安全な環境で学習や交流を深めることができる。 施設修繕や備品等の更新など、適切な施設・設備の維持管理を行い、維持管理費の長期的視点からのコスト削減や利用者の安全と利便性向上を図る。 また、全施設において冷暖房等使用料の実費を徴収している。						

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施した。照明のLED化を進め、経費削減、施設環境の整備を図った。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。	使用者の利便性と安全に配慮した施設の適切な維持管理を実施。

指標名	生涯学習センター・地域公民館等の延べ利用者数				
算式					単位 人
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				180,000
	実績	81,251	99,672		
指標選定の理由	第6次須崎市総合計画に同じ				
最終年度目標の根拠	2019年度の現状値とコロナ感染症による利用者減を考慮				
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					
指標名					
算式					単位
年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
目標値	目標				
	実績				
指標選定の理由					
最終年度目標の根拠					

事業費

(単位：千円)

		令和4年度 決算	令和5年度 予算
事業費		25,495	25,247
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	526	963
一般財源		24,969	24,284
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	会計年度(フル)	0.1	0.0
	会計年度(パート)	0.9	1.0
人員コスト	正規職員	1,391.6	1,391.6
	会計年度(フル)	350.4	0.0
	会計年度(パート)	1,465.2	1,628.0
	計	3,207.2	3,019.6
市民一人当たりの経費		0.5	0.5
総額		28,702.2	28,266.6

(単位：千円)

令和4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	7,115	消耗品費1,056、燃料費384、光熱水費3,791、修繕料1,884
12節 委託費	1,646	清掃業務145、電話保守63、自動扉保守47、エレベーター保守792、事務機器保守263、電気保安298、シルバー管理38
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	16,734	会計年度任用職員報酬8,557、職員手当1,653、共済費959、旅費376、役務費581、使用料及び賃借料4,299、原材料29、備品280

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	5,998	消耗品費1,013、燃料費346、印刷製本費90、光熱水費3,499、修繕料1,050
12節 委託費	1,820	清掃業務148、電話保守64、自動扉保守48、エレベーター保守792、事務機器保守371、電気保安299、シルバー管理98
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	17,429	会計年度任用職員報酬8,887、職員手当1,857、共済費994、旅費395、役務費803、使用料及び賃借料4,380、原材料29、備品75、公課費9

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	SDGSIに配慮した施設管理が望まれている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設機能の充実を図り、利用者の利便性を高める	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コロナ対策を講じつつ、維持管理費の軽減を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）

利用者の利便性の向上と安全を考慮した施設の維持管理を継続する

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

不足している駐車場の確保、西館及び附属屋の老朽化による維持管理費の増大や安心安全に施設を利用していただくように施設の利便性を高めることが求められている。

2次評価コメント

生涯学習推進施設として、各世代の利用が促進できる施設管理を進める必要がある。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--

令和 5年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/> 実計対象	<input type="checkbox"/> 評価対象	<input checked="" type="checkbox"/> 新規	<input type="checkbox"/> 完了事業	<input type="checkbox"/> ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/> 担当者	北澤
	全体計画			経費区分	-	内線	3630
事務事業名	4758 旧上高井郡役所管理事業						
所 属	130600 社会共創部・生涯学習推進課						
施 策	04011200 多様な生涯学習の推進						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	100611 教育費・社会教育費・旧上高井郡役所費					
	事業	010000 旧上高井郡役所管理事業					
事業目的				事業概要・効果			
文化財としての保存と、歴史的建造物としての特性を活かしながら、多くの市民の方に親しまれる施設として活用できるように適切な維持管理を行う。				歴史的建造物（市指定有形文化財）である旧上高井郡役所を、市民の交流施設として活用する。 また、文書館や古い映画ポスターの公開、更には蔵の町並みキャンパスの拠点として利用される当施設の維持管理を行う。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

令和 2年度 実績	令和 3年度 実績
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 4年度 実績	令和 5年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。
令和 6年度 予定	令和 7年度 予定
施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。	施設の維持管理及び環境整備及び、市民交流施設としての施設運営。

指標名	旧上高井郡役所の延べ使用者数						
算式						単位	人
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標	10,000	12,000	16,000	16,000	16,000	
	実績	10,370	14,476				
指標選定の理由	近年値を参考に設定した。 参考 平成29年度15,952人、平成30年18,886人、2019年度 17,368人、2020年度 9,260人						
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							
指標名							
算式						単位	
年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度	令和 6年度	令和 7年度		
目標値	目標						
	実績						
指標選定の理由							
最終年度 目標の根拠							

事業費

(単位：千円)

		令和 4年度 決 算	令和 5年度 予 算
事業費		9,703	10,022
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	1,191	900
一般財源		8,512	9,122
人員数 (人)	正規職員	0.0	0.1
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1.0	1.0
人員 コスト	正規職員	0.0	695.8
	会計年度(フル)	0.0	0.0
	会計年度(パート)	1,628.0	1,628.0
	計	1,628.0	2,323.8
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		11,331.0	12,345.8

(単位：千円)

令和 4年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,915	消耗品費192、燃料費157、光熱水費1,179、修繕料387
12節 委託費	4,524	樹木選定伐採等委託106、日直業務委託4,326、除草等業務委託92
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,264	会計年度任用職員報酬1,941、職員手当等386、共済費372、旅費27、役務費199、使用料及び賃借料186、備品購入費153

(単位：千円)

令和 5年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
7節 報償費	0	
10節 需用費	1,927	消耗品費226、燃料費157、光熱水費1,004、修繕料540
12節 委託費	4,768	日直業務委託4,668、除草等業務委託100
14節 工事請負費	0	
18節 負担金補助及び交付金	0	
その他	3,327	会計年度任用職員報酬2,082、職員手当等400、共済費393、旅費27、役務費220、使用料及び賃借料205

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	普通
評価コメント	SDGSIに配慮した施設管理が望まれている	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	有効
評価コメント	施設機能の充実を図り、利用者の利便性を高める	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	コロナ対策を講じつつ、維持管理費の軽減を図る	

振り返り（決算年度の取組み課題）

利用者の利便性の向上と安全を考慮した施設の維持管理を継続する

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	簡易な改善（拡大）
総合評価コメント		2次評価コメント	
他課も入居している市指定有形文化財の建物を市民交流施設と並行して施設運営していくことは難しい。建物が古いため、修繕費の増加が見込まれている。		市民の貴重な財産としての文書を保存活用する施設として、管理方法等について検討する。	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	